

渡良瀬遊水地エコ・アグリツーリズム推進拠点施設の有効活用

12班

地域名 小山市産業観光部渡良瀬遊水地ラムサール推進課
 パートナー名 大澤さん、大谷さん、丸山さん

コミュニティデザイン学科 松田奈央
 建築都市デザイン学科 木下直樹 宮本いづみ
 社会基盤デザイン学科 勝目進之介 羽賀毅

背景

渡良瀬遊水地は、4県4市2町にまたがる日本最大の遊水地である。2012年7月にはラムサール条約湿地に登録された。渡良瀬遊水地で開催されている主なイベントは、ふゆみずたんぼ田植えツアー、おさかなワイワイ大作戦、ヨシ灯り展などがある。2020年5月には渡良瀬遊水地の観光拠点として、「コウノトリ交流館」が小山市下生井にオープンした。「コウノトリ交流館」は、休憩所としてだけでなく、渡良瀬遊水地や遊水地に定着しているコウノトリの情報発信の役割も果たしている。

しかし、コウノトリ交流館には人足が少ないことが課題であり、コウノトリ交流館をうまく活用する方法を考える必要がある。また地域パートナーさんのお話や過去のイベントの来場者のデータから渡良瀬遊水地への若者の興味を得られていないことが分かった。



図1 渡良瀬遊水地の様子



図2 コウノトリ交流館

目的

私たちは大学生のような若者が興味を持つ渡良瀬遊水地のイベントを提案することにした。そこで、大学生の興味・関心を知るために、現在、大学生が具体的にどのようなイベントに興味を持っているのかを調査する。調査結果より、コウノトリ交流館をうまく活用したエコ・アグリツーリズムを提案する。

方法

調査対象：宇都宮大学の学生62名
 調査方法：Googleフォームで作成したアンケートを回答してもらう
 調査内容：渡良瀬遊水地についてどのくらい知っているか
 [イベントに参加したことがある/行ったことがある/聞いたことがある/聞いたことがない]
 渡良瀬遊水地に行こうと思った理由
 参加したことがあるイベント内容
 どのジャンルのイベントに魅力を感じるか
 [見る・体験する(学ぶ・つくる)/食べる/泊まる/交流する]
 参加したくなるイベント内容の自由記述

分析結果

若者の興味関心はどこにあるのか、若者の例として宇都宮大学の学生にアンケートを実施した。62件の回答の内、イベントに参加したことがある人はいなかった。(図3)渡良瀬遊水地に行ったことのある人の理由としては、「授業で行った」、「ウォーキング」、「子供の頃遊んだ」などがあげられた。魅力を感じるイベント内容として、「食べる」が43件、次いで、「見る・体験する」が36件、「泊まる」が19件、「交流する」が8件となった。(図4)そこで、私たちは若者の興味がある渡良瀬遊水地のイベントとして「食べる」「見る」「泊まる」に着目したイベントを提案したい。

問1 渡良瀬遊水地についてどのくらい知っていますか？
 62件の回答

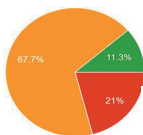


図3 学生の渡良瀬遊水地の認知度

問3 どのイベントに魅力を感じますか？ (複数回答可)
 62件の回答

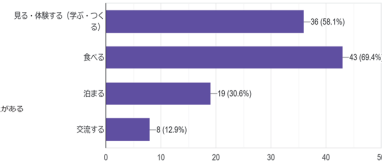


図4 学生が魅力を感じるイベント

提案

①地域パートナーさんの課題分析から

- ・コウノトリ交流館の活用方法。
- ・イベントの活性化

②過去のデータから

- ・若者の興味、関心の薄れ

③分析結果から

- ・若者は食べる見る泊まる交流するの順にイベントに対し興味を示すことが分かった。

グループ12の提案

ヨシ灯りを活かしたグランピング施設

- ②よりターゲットを大学生などの若者に絞る。
- ③より渡良瀬遊水地は自然に恵まれており、その自然の中で
 - ・小山市の美味しいものを「食べる」
 - ・星空、夕焼け、遊水地、コウノトリ、豊かな自然などを「見る」
 - ・自然の中で「泊まる」
- ①よりコウノトリ交流館を受付として利用する。

全体概要

私たちは地域プロジェクト演習の活動を通して【ヨシ灯を活かしたグランピング施設】を提案する。渡良瀬遊水地は自然に恵まれており、その自然の中で小山市の美味しいものを「食べる」、星空、夕焼け、遊水地、コウノトリ、豊かな自然などを「見る」、自然の中で「泊まる」ことができる若者のニーズにあっていくイベントであると考えます。

運営方法

場所は生井桜づつみで行う。近くにコウノトリ渡良瀬遊水地駅というバス停があり、アクセスも良い。

グランピングの宿泊受付、駐車場をコウノトリ交流館とする。コウノトリ交流館と生井桜づつみは1.5kmの距離にあり平坦な道であるため道中の自然も楽しめ、苦ではない。コウノトリ交流館ではグランピングの受付だけでなくグランピング利用者に向けた自転車の貸し出し、釣りセットの貸し出しなどを行う。参加人数はソーシャルディスタンスも考え5組とする。入浴施設までは車で14分の距離にあるためマイクロバスなどを活用し利用を促す。(図7、図8)

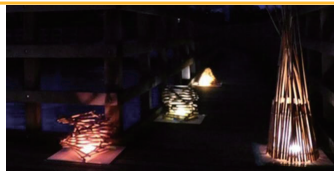


図5 ヨシ灯り展の様子



図6 グランピングイメージ

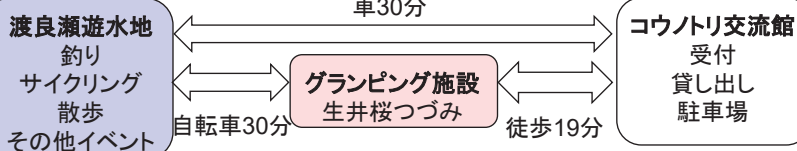


図7 運用コンセプト図

14時	コウノトリ交流館で受付
15時	渡良瀬遊水地へサイクリング&釣り&散歩&イベント
17時	コウノトリ交流館へ帰宅(夕飯の貸し出し)
18時	グランピング施設にて食事
19時	ヨシ灯り点灯
21時	近くの入浴施設へ
23時	就寝
8時	朝ごはん
10時	チェックアウト

図8 一日の流れ